

静岡

企業等と行政が連携し、スポーツ産業の創出を目指す「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」が、豊岡三島市長を代表発起人に、企業、スポーツクラブ、団体、金融機関、行政等から16人を発起人として本年1月30日に設立された。

この協議会は、県東部地域における協議会活動を通して、スポーツに関する新産業の創出を図り、地域産業の活性化や地域経済の発展に寄与することを目的に設立されたものである。

スポーツ産業は、「観るスポーツ」としてのプロ野球やJリーグ等のスポーツ観戦、「するスポーツ」としてのマラソン、トレッキング等スポーツ大会への参加、「支えるスポーツ」としてのスポーツイベントの誘致や開催など、様々な業種の企業や団体が参入でき、また、レジャー白書によるとその市場は2012年においては約3兆9千億円となっている。

昨年、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定した時には、日本全国が喜びに沸いた。このようにスポーツは閉塞感がみられる社会を明るくする効果があり、また、オリンピック開催による波及

効果については、東京都の試算では、日本全体で約2兆9千億円と巨額に上ることが発表されている。

一方、地域の強みとして県東部地域は、昨年世界文化遺産に登録された富士山や温泉、日本有数の宿泊施設が集積する伊豆地域など豊富な地域資源がある。また、東京オリンピック・パラリンピック会場から地理的に近い優位性を活かし、スポーツイベントと宿泊や観光を組み合わせ、スポーツを切り口とした新しいスポーツ事業を創出できるポテンシャルの高い地域である。

設立された協議会は、地域の企業やスポーツクラブ、東部地域の20市町、金融機関、産業支援機関がメンバーとして参加し、東部地域のスポーツイベントや関連施設などの情報を一元化した情報発信を行うとともに、東部地域のアウトドアスポーツ、サイクリング等のスポーツ資源を活用して広域連携による新たなスポーツツーリズムを企画開催する「スポーツツーリズム部会」や、スポーツクラブが主催するホーム試合開催を活用したアウエイツーリズムの実施や既存のスポーツ施設を活用した様々なスポーツ合宿を検討する「スポーツイベント・合宿部会」を設置し、会員連携による新たな事業を創出する活動を本年度より開始する。

多くの企業・団体等に参加していただくとともに協議会の活動を理解してもらい、今後の取組が、東部地域の活性化の起爆剤となることが期待される。

「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」が活動開始!



キックオフセミナーの様子

静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会の運営体制

